

**令和6年度 第3回川崎市社会教育委員会
有馬・野川生涯学習支援施設専門部会会議録（要旨）**

日 時 令和7年3月6日（木）14：00～16：00
会 場 有馬・野川生涯学習支援施設 2階 グループ室
出席者 部会長 小倉 敬子（公益財団法人かわさき市民活動センター 理事）
委 員 生駒 みを（菅生中学校区地域教育会議 副議長）
加賀 勉（川崎市立有馬中学校 校長）
津田 知充（宮前第一地区社会福祉協議会 会長）
鴨志田 由美（市民委員）
山本 啓子（市民委員）
指定管理者 石渡館長（アクティオ株式会社）三枝（アクティオ株式会社）
事務局 宮前区役所生涯学習支援課（宮前市民館）大木課長（館長）、
石川担当課長、加古主任
欠席者 委 員 本田 明子（川崎市立有馬小学校 校長）
森 敬起（西野川町内会 会長）

会議の成立 （委員6名出席）

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

- 1 あいさつ（宮前市民館長）
- 2 資料確認等
- 3 議 事
 - （1）令和6年度管理運営業務報告について
 - （2）令和6年度利用実績・事業・収支報告について
 - （3）令和7年度事業計画（案）について
 - （4）その他

配付資料

資料1 令和6年度第3回有馬・野川生涯学習支援施設専門部会資料

（その他）

- ・第14回アリーノフェスタ ・3B親子体操無料体験会 ・おかたづけキッズパズル
- ・親子deつくろう水引小物 ・ボクの形わたしの色 ・アリーノコーラス 団員募集
- ・アリーノニュース 3月号 ・としよだより 春号

開 会

1 あいさつ（宮前市民館館長）

2 資料確認等

3 議 事

（１） 令和６年度管理運営業務報告について

（２） 令和６年度利用実績・事業・収支報告について

（１）及び（２）について、石渡館長が資料１－１①、②を用いて説明。

（質疑応答）

津田委員

資料１－１の「生涯学習活動の振興を図るための事業」として「アリーノこども食堂」で、「地域の高齢者が地域住民と交流を持てる場所」とあるが、開催の様子は具体的にどのような感じなのか。

石渡館長

一人での申込みもあり、友人と申し込む人もいるので、席を決める際に、一人で申し込んだ人と親子連れの人を近い席にするなど、参加者同士が交流を深められるような工夫をしている。

津田委員

食事大切だが、独居者は会話をしたいという心理があり、地域の方との交流が大切なので、このような企画は重要でありがたい。

石渡館長

参加者の滞在時間は比較的長く、食事をしてからも会話を楽しんでいる様子が見られる。次に参加する際に交流が広がるよう、席が前回と被らないような配慮もしている。

生駒委員

「地域関連行事等」の中に、有馬小学校２年生の町探検に協力した旨の記載があるが、小学生からどのような質問があったのか。

石渡館長

ここアリーノでの働き方や、地域図書室の新刊は誰がどのように選んでいるかといった質問があった。

山本委員

「川崎市・宮前区関連事項」の中に「学習支援事業への協力」とあるが、毎回決められた先生がいらっしゃるのか。

石渡館長

川崎市の方で地域の学習塾と毎年、年度ごとに契約をしているようで、この場を借りて学生さんの個人指導のようなかたちでやっている。

山本委員

無料で、決まった方が利用するのか。それともその都度自由に参加できるのか。

石渡館長

無料で、基本的には申し込みをしていただいた方となっている。

小倉部会長

これは生活保護世帯等が対象となっているので、行政から対象の家庭に連絡がいく。

その中で勉強をしたい方が申し込みをする。一般公開とは違う。

山本委員

ニーズがあっても、昔はなかった制度なのでいいと思う。

グループ学習室は、地域の学生が利用しているのか。

石渡館長

申し込みをしてもらい、席を決めて1回4時間利用できる。1階に16席あり、満席になると2階のフリースペースを臨時に開放している。小・中学生や高校生から大人まで様々な人たちが利用している。

山本委員

遊びの場ではなく、学びの場を求めている生徒が実際に多いと感じる。

石渡館長

夜間に小学生も利用している。子どもが勉強し、保護者は図書室を利用している。

山本委員

落ち着いて勉強ができる環境があるのはいいと思う。

鴨志田委員

「コミュニティスペースにナンプレコーナーを新設」とあるが、どのようにして参加するのか。

石渡館長

コーナーには印刷した問題を置いてあり、自由に持っていける。難易度が違う問題を用意して、新しい問題を出す際に前回の解答を出している。ヒントを置くなど工夫しており、発行日を目当てに来館する人もいる。

小倉部会長

どのような人が参加しているのか。

石渡館長

高齢者が多いと思っていたが、小学生も楽しく解いている。

鴨志田委員

新しい取組は新鮮で良いと思う。一方で、団体登録は減っている。高齢化や世代交代の難しさなどあるが、アリーノでできることを皆さんにどうアピールしていくか、鷺沼に移転する新しい市民館との棲み分けを考えていかなければならない。

石渡館長

アリーノの施設、講座について知っていただけるよう、アリーノニュースにQRコードを掲載してホームページに誘導できるようにした。

(3) 令和7年度事業計画(案)について

石渡館長が議事(3)について、資料1-2①を用いて説明。

鴨志田委員

年末に向けて第九を練習するため「アリーノコーラス」の団員募集という新たな取組は、平日の午前中では参加が難しい人もいないのではないか。夜間帯ならもう少し集まりやすいのではないか。

石渡館長

平日の午前中という時間帯は参加者が少ないのではと心配したが、男性、女性とも集まっている。講師の都合もあってこの時間帯となった。講師が他にも複数の団体で指導しており、他の団体とともに発表の場が持てたらと思っている。

津田委員

やろうということが大事であって、やり方は進化していけば良いと思う。

鴨志田委員

コロナ禍で声を出すという行為が難しかった時期があったが、このような講座があるとまた盛り返してきたのだと感じる。

小倉部会長

第九については、川崎市民が参加できるものがあり、毎年参加者を募集し、ミューザ川崎シンフォニーホールでコンサートを行っているので、知っておいてほしい。

音楽のまち推進協議会が発行している「Kawasaki Music プチ Magazine～イベントカレンダー～」はアリーノに配架しているか。アリーノでの音楽イベントも載せることができるので、活用してみてもどうか。アリーノだけで情報を完結するのではなく、色々なネットワークを使って情報を発信していくことが大切だ。

鴨志田委員

子育て世代の交流の場や居場所づくりに向けて、アリーノでの「子育てサロン」が実現し、大変ありがたいと思う。使わなくなったおもちゃがあるが、受け入れ可能か。

小倉部会長

おもちゃを使ってもらうには、乳幼児用のものは消毒しなくてはならないなど、様々な注意事項があるので、確認した方がいい。

鴨志田委員

「おやこアロマテラピー教室」「金継ぎ体験」や「アリーノ寄席」などの新しい試みの講座があり、とてもいいと思う。アリーノ寄席は有料なのか。

石渡館長

無料である。出演するのはアマチュアだが、交通費程度は支給したいと思っている。

小倉部会長

アマチュアで寄席をやっている人は市内に多く、団体もある。

有馬中学校では職業体験を行ったようだが、学校側からの要望はあるか。

加賀委員

有馬中学校はアリーノフェスタでボランティアとして協力しているが、高校生に協力を呼びかけてもいいのではないかな。

小倉部会長

高校生のボランティア活動は多くある。

加賀委員

高津支援学校川崎北分教室の職場体験の受け入れは、地域と連携できる非常によい取組だと思う。野川地区の学校もボランティアとして参加できればいいのではないかな。

石渡館長

今年は日程の都合で野川中学校からの受け入れはできなかったが、川崎北高校内にある高津支援学校川崎北分教室と職場体験でつながったことにより、北高との接点ができた。ギャラリーで3月に北高写真部の展示を行う際にボランティアのお話もさせていただきたいと思っている。

加賀委員

中学生もWi-Fiが使えると学習しやすいが、アリーノでの学習室はWi-Fiがつながっているのか。

石渡館長

川崎市のフリーWi-Fiが使える。また貸室を利用する場合はアリーノのWi-Fiも利用できる。

(4) その他

石渡館長

まずは、3月16日(日)に実施するアリーノフェスタを事故なく成功させたい。

また、子育て支援の事業を強化してきたので、ひとつひとつの事業を成功に結び付けて、次につなげていきたい。新しく始まる事業に関してもしっかりと広報していきたい。

大木館長

前回会議で小倉部会長から、子育て支援について区役所の関連部署と連携して進めてはどうかという意見をいただいたことを受け、早速、石渡館長、地域みまもり支援センター地域ケア推進課、地域支援課と話し合った。先ほど報告があったとおり、令和7年度から「子育てサロン」を開設するところまで進んでおり、今後でもできることから取り組んでいくので、委員の皆様から様々な御意見をいただければと思う。

また、効果的な広報活動をしてほしいとの御意見もいただいていたが、2月14日と15日、鷺沼駅に近い駐車場で開催された区役所・市民館・図書館移転の啓発イベントでチラシを配布してきた。市民館だより、菅生分館だより、アリーノニュース等を袋に入れて配布したところ、距離的に近いこともあってアリーノの認知度も高く、反応は良かった。今後も機会を捉えて、広報活動を進めていきたい。

石渡館長

かわさき市民活動センターと中原市民館に挨拶に行き、アリーノニュースを配架してもらえるようお願いした。また近隣の接骨院にも置けるように依頼した。

小倉部会長

チラシの配布等については、近隣の金融機関、ドラッグストア、病院や、事業に参加しているボランティアにも協力を依頼してはどうか。

事務局

令和7年度も、専門部会の開催は今年度と同様に年3回とし、次回の開催日程については新年度に入ってから調整する。